

事業所名 こども発達サポート つむぎ

公表日 令和 6 年 12 月 25 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4	・訓練指導室は36㎡あり、活動は指導員の四角もなく行えています。	低学年の頃比べ、身体も運動量も向上しています。狭く感じる活動も出てきています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	・基準よりも指導員を多く配置しています。イベントやお出かけの場合には増員します。	基準は満たしているものの、学校の天候による臨時休校時には、送迎等が困難な場合があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・駐車場からガレージや玄関、室内まで全てにスロープが付いており、車椅子を使用しているお子様も同じ空間で過ごすことができます。	今後も特性を持ったお子様に応じて、過ごしやすい環境が維持できるように、心がけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。定時換気を行い、室内温度を調節します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室（静養室）で対応します。	個室では目が行き届かなくならないように、常にスタッフ一人は付き添えるように、注意しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	7	2	・休暇等により全員出席は難しいですが、出勤人数が多い日に合わせて支援会議等を行います。	PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題が共有できるように職員に周知していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・保護者からの意見やアンケート結果などを活かせるよう活動や行事に取り入れています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7	・関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	・外部の研修に参加したり、地域で行われる支援協議会に参加し、知識の向上を図っています。	県のHPやメールなどを確認し、開催される研修を積極的に受講するように努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・支援プログラムを作成し、ホームページにて公表し、閲覧しやすいようにしています。	ホームページを岡山県来や911に、ハンドレットや通信にもQRコードを搭載していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	・お子様の様子や保護者様の要望等の聞き取りを行い、それに基づいて児童発達支援計画を作成します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・お子様に関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し、最善が尽くせるように、情報共有を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	・職員間で計画の内容を共有して支援を行っています。見直し等も協議し、更新します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4	・アセスメントシートを使い、その年齢にあった発達ができているか、現在の状況を把握するために使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	・アセスメントを行い、支援に必要な項目を選択しています。また、どのように支援を行っていくのか具体的な内容を記載しています。	お子様一人一人の発達段階に応じたプログラムの立案に、保護者様、その他関係機関、また当事業所全職員の意見を聞きながら、発達段階に応じたプログラムの立案に努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・職員会議で月案を作成し日々のプログラムの作成を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・季節の行事や子どもの意見等を踏まえ活動内容を工夫しています。	意見を聞きながら取り入れますが、低学年から高学年までいるので、詳細はスタッフが決定し
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・生活の目標はそれぞれ異なっているのでそれぞれ個別で指導を行い、集団での活動も計画に含めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・サービス提供前には職員体制、活動内容・食事やおやつ、送迎等の打ち合わせを必ず行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・提供終了後は子どもの状況や職員の対応を確認し、改善点や各家庭の連絡事項等を共有しています。	勤務形態が異なるスタッフもいるので、次の日に申し送りなどして、情報を共有します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	・一人一人のケース記録をとり、活動や体調変化等の記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・支援会議と中間評価を行い、計画の見直しの必要性を判断しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	3	・成功体験を積み自己肯定感を高める、他者と関わる、表現する喜びを体験する等の場面を設けながら支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	9	0	・主に児童発達支援管理責任者が出席しますが、他にも詳しい児童指導員が参加することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・関係機関と連携を取り合い、情報を共有して現在の発達の状況に合わせた支援ができるように努めています。	関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう、連絡事項は日時が確認できるように記録するように努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・保護者を通して情報を得ています。また、学校の行事の見学などの機会を利用しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・今後も、対象者がいれば必要に応じて情報共有を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	・現在対象者はいませんが、過去には情報提供を行い移行していました。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	・要請により参加できるように取り組んでいきます。(田川地区自立支援センター)	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9	0	・地域の子どもと交流する機会は設けていませんが、学校や学童を利用している子がほとんどです。	地域の中で交流できる施設があるかなど、様々な機関や施設とのつながりを作っていくよう努めます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	要請があれば参加の体制はあります。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時や日々の連絡帳により、お子様の状況を共有しています。ご要望があれば面談も行っています。	話しやすい相談支援体制を構築するよう努めます。
保護者へ説明責任等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・毎月発行の通信の一部で子どもへの対応方法をコラム等で保護者等へ提案しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・利用前にも発生する料金等について十分に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	・お子様と保護者様の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	2	・発達に関する提供すべき支援を意識しながら個別支援計画や提供内容も家庭や地域支援も含まれるようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	・保護者からの相談に随時対応し、助言を行っています。	日々の連絡事項は、連絡帳と口頭で確認しています。相談や悩みに対して対応できるように心がけています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	・保護者会を行っていませんが、今後は保護者一同を招くことを考えています。	祭りやイベント等を立案し、交流の場を検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	・今現在まで苦情は上がっていませんが、苦情マニュアルに基づいて対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月、行事活動予定表や、通信を発行、ブログでも活動や子どもの様子を伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報取り扱い同意書で同意を得て、それに基づいて使用させてもらっています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	・保護者には連絡帳や面談で、子どもには実物や絵カード等を使用し、意思疎通を図っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	・今後検討していきます。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・利用契約を行う場合、事業所の体制としてマニュアルの説明を行います。安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	・BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、連絡訓練の他、利用者と共に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・利用開始前の面談時に確認を行っています。情報は職員間で共有するよう努めています。	緊急時に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うようにします。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	1	8	・保護者を通じ医師からの指示に基づき対応しています。	指示書がある場合は職員間での周知を図ります。より良い周知方法を検討していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3	・安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて「つむぎ通信」や口頭にて周知に努めています。	保護者へのお知らせが安全計画に基づいて行われていることへの周知が不足しているため、よりわかりやすい周知方法を検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	・危険な事例があった場合は職員会議で共有し注意するよう促します。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・虐待防止について研修も行いますが、意識しながら支援ができるよう取り組んでいます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・現在まで身体拘束が必要と思われる利用者は利用していません。必要と思われる対象者が利用する場合は、身体拘束禁止規定に沿って決定しています。	